

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

薬学部医療薬学科では、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した学生に、学士（薬学）の学位を授与する。

- 薬剤師としての職能を発揮するために必要な知識・技能・態度を総合的に修得し、薬の専門知識を有する医療従事者として相応しい責任感と倫理観をもって、人々の生活を支えることができる。
- 地域で生活する人々が抱える健康に係る問題に対して、合理的な判断に基づく解決策を提案し、他者と協力してその実践に努めることができる。
- 地域の保健・医療・福祉に貢献するために、生涯にわたり継続的に学び、成長する意欲と態度を有する。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

薬学部医療薬学科では、学部の目指す人材育成に基づき、薬剤師としての専門性を有する医療人を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成する。

- 医療人に相応しい責任感や倫理観に基づく行動習慣を身につけ、豊かな人間性を育むために、入学直後より6年間を通じ、臨床マインドを醸成する科目群（ヒューマニズム・社会と薬学・薬学臨床）を設置する。
- 生涯学習につながる自己省察力を醸成するために、6年間を通じたポートフォリオ学習の実践や、キャリアファイルを活用することで、自らの学習意欲や成果を振り返る機会を提供する。
- 医療人として、地域社会や国際社会、企業社会等で求められる基礎的な力と教養を身につけるため、国際教育や教養科目に関わる科目群を設置（一般教養、情報、語学）する。
- 薬剤師資格の基盤となる専門性を身につけるために、薬学専門科目群（基礎薬学・衛生薬学・医療薬学・薬学臨床）を設置し、科目間や学年間のつながりを意識した学習を効果的にするため、全学年で総合演習並びに統合学習を行う。
- 身につけた知識・技能・態度を統合し、専門職に求められる判断力や実践力を身につけるために、高学年次に実践的科目群（実務実習・卒業研究・特論演習）を設置する。
- 薬学的知識と技量を有する専門職として、視野を広げ、異なる価値観を受容し、他者を理解し協働する能力を身につけるため、専門職連携教育や国際教育に関わる科目群を設置する。

ディプロマ・ポリシーが示す能力や学生の成長に伴う達成度を以下のように測定、評価する。

- 専門知識の修得は、設置された薬学専門科目群や総合演習、統合演習を通じて行う。
- 医療人としての意欲や態度は、臨床マインドを醸成する科目群や科目群とは独立した自記式評価票を用いて行う。
- 専門職に求められる判断力や実践力は、実践的科目群で評価する。
- 学年進行に伴う学生一人ひとりの総合的評価は、各評価指標に加えポートフォリオ学習の成果やキャリアファイルを用いて行う。

薬学部が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

薬学部医療薬学科の教育方針に共感を示す以下のような人を広く求めます。

- 修学における基礎的な学力を身につけている人
- 健康や医療に興味を持ち、将来、医療人として社会貢献することに意欲的な人
- 自ら目標を掲げ、主体的に行動できる人
- 他者を理解し、積極的なコミュニケーションがはかれる人
- 問題探求心、学習意欲を持ち、生涯にわたり自己研鑽に励むことのできる人